

◇12月の代祷・信施奉献先

▽世界エイズデー（1日）

▽野宿生活者支援のため

（Ⅱ）▽エルサレム教区の難

民支援活動のため▽日本聖

書協会の働きのため▽難民・

移住労働者のため

◇クリスマスメッセージ動

画配信

24日、25日に高橋宏幸主

教のクリスマススイブとクリ

スマスのメッセージを動画

で配信いたします。主教座

聖堂ホームページからご覧

いただけます。

コロナ感染が拡大してい

る昨今、昨年までとは違う

クリスマスそれぞれの場

でお迎えになる方がたくさ

んいらつしやることでしょ

う。ぜひ、ご覧いただき、

イエス様のご降誕とその意

味を皆さまとともに祝い、

分かち合い、お祈りしたい

24日の配信16時から

25日の配信7時から

主教座聖堂 URL [http://](http://www.anglicanecathedral.tokyo/)

www.anglicanecathedral.tokyo/

tokyo/

▽下町聖書の会（2021

年1月）

①日時：8日（金）10時半

場所：神田キリスト教会

②日時：15日（金）10時半

場所：神愛教会

③日時：22日（金）10時半

場所：神田キリスト教会

・12月25日の聖書の会はお休

みします。

・学ぶ箇所は次の主日の聖書

箇所です。下町G以外の方

の参加も歓迎します

「宣教主事からのお知らせ」

毎年発行している、東京

教区各教会・礼拝堂の「ク

リスマス礼拝」と「大斎プ

ログラム」一覧について、

このたびはCOVID-19の影

響により送付致しません。

予定に変更の可能性がある

こと、所属教会・礼拝堂以

外の礼拝にはなるべく出席

しないことなどのためです。

ご理解の程、どうぞよろ

しくお願い致します。

（司祭太田信三）

「主日の聖書日課資料B年版

発行のご案内」

聖ミカエル教会で編集発行

している「主日の聖書日課資

料B年版」が発行された。A

年版、B年版、C年版すべて

そろいました。内容はカトリッ

ク聖書センターから出された

聖書資料（著作者：雨宮慧神父・

布川悦子）を聖公会の日課表

に基づいて編集したものです。

頒布価格はABC各年度版

とも送料込みで4千円となっ

ています。

入手ご希望の方は、東京

教区渋谷聖公会聖ミカエル教

事務局宛にFax又はEメー

ルにてお願い致します。

mail: [shibuyast.michael@](mailto:shibuyast.michael@gmail.com)

[gmail.com](mailto:shibuyast.michael@gmail.com)

Fax: 03 (3409)

2938

「教区事務所の年末・年始休業」

12月25日（金）降誕日

12月30日（水）～1月6日（水）

休業させていただきます。

「教区時報休刊」

コミュニケーションクリスマス号

休刊いたします。

教区ニュース1月3日号

休刊いたします。

今週・来週の予定

12月20日～1月9日

- 20（日）降臨節第4主日
- 25（金）降誕日
- 27（日）降誕後第1主日
- 2021年1月
- 1（金）主イエス命名の日
- 3（日）降誕後第2主日
- 6（水）顕現日

聖職、聖職候補生のつぶやき

11月12日

知恵が私と共にいて働き、あなたが何を喜ばれるのかを私が知ることができますように。(知 9:10)

主の知恵は人の知恵の延長線上には存在しません。時に私たちは自らの知恵に頼ろうとしがちですが、大切なのは神の知恵に畏れ、聞き、促しを祈りながら「主の喜び」を願い求めることなのだと思います。

中村 真希聖職候補生

11月13日

きょうだいたち、あなたがたは自由へと召されたのです。(ガラテヤ 5:13a)

白紙を目の前に「さあ、どうぞ。ご自由に」と言われた時、躊躇なく筆を降せるのはどんな心象だろうか。ひとつは、自己満足でも自分勝手でもない真の自由への飢え渴きを耐え忍んできた時、神の望まれる自由を渴望している時。

上田 亜樹子司祭

11月16日

その後、わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。(ヨエル書 3:1)

夢と幻。幻はビジョン。夢もビジョンも生きていくために人間に必要なことです。それがご高齢の方や若い世代から与えられることを、この現代社会で忘れないで生きていきたい。

笹森 田鶴司祭

11月17日

そして最後に、『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、主人は自分の息子を送った(マタイ 21:37)

神は絶えることなく使者を遣わして、神のあわれみを告げさせた。しかし人間はそれを受けとめない。裏切られても、裏切られても、より大きな愛を示すことが神の「愛」なのだ。

荻原 充聖職候補生

11月18日

キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです。(フィリピ 1:29)

一人でない限り他者によるストレスから逃げられない。苦しいが、これを人生の一部として受け入れねばならない。変えられないことを受け入れる勇気、これはキリストによる知恵でもある。

金 大原(キム デウオン) 司祭

11月23日

アブラムは、主の言葉に従って旅立った(創世記 12:4)

行き先も知らない新しいステージへと神は呼び出す。今、歴史的未体験の旅路を歩んでいるわたしたち。どのような世界になってゆくかわからないけれど、神と世界の人びとと共に往く、命を守り合う旅路に、「信頼」の姿勢を貫きたい。

宮崎 光司祭

11月24日

一人の若者が、素肌に亜麻布をまとうてイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする、亜麻布を捨てて裸で逃げてしまった。(マルコ 14:51)

自分はどんなことがあってもイエスさまを裏切ったりはしない。そう決意しながら身の恐怖を感じると逃げ出す自分を見つめている。

杉山 修一司祭(退職)

https://twitter.com/tko_column